



王南通信

令和4年5月9日 第8号

HPアドレス <http://ounansho.sakura.ne.jp/>



本を読みましよう。ど
んどん学校図書館へ行き
ましよう。

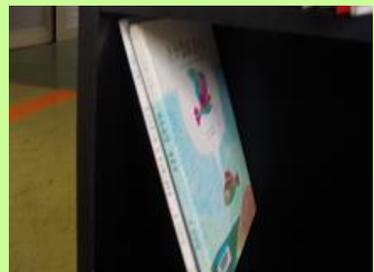


本を読もう！

学校司書の中原さんが、国語教材の並行読書や社会科などでの調べ学習などに活用できるように、各学年でこれから学習する内容と関連のある本を選んで各学年の廊下にあるボックスに置いてくださっています。教科で学習している時間中にもすぐに取りに行けますし、外で遊べないときや短い休み時間にも手にとってもらえると思います。

普通の個人貸し出しの本ではありませんので、学校で読んだり調べたりし、使い終わればほかの人たちが使えるようにボックスに戻しましょう。持って帰る必要があるときは、担任の先生に相談してください。どの本もそうですが、みんなが使うものです。ていねいにあつかって、折ったり汚したりすることのないよう気をつけましょう。

2年生の国語科で学習している「スイミー」は、とても楽しいお話です。作者のレオ＝レオニさんの本も置いてあります。興味のある人はぜひ読んでみましょう。私も本を読むことが大好きで、昨年には私が子どもころに大好きだった松谷みよ子さんの「龍の子太郎」も中原さんたちが見やすく展示してくださっていました。読んでみたい人は中原さんに聞いてみてね。みんな、どんどん学校図書館へも行きましょう。



気持ちのよいトイレを「ありがとう」

先日学校を回っていて、スリッパがきれいにそろっているトイレを見かけました。スリッパがはきやすくそろえられていると、使うときに気持ちがいいですね。一人一人が気をつけているんだろうか、それともだれかがそろえてくれたんだろうか。トイレを使っただれかさ、どうもありがとう。

私はトイレを使うとき、気持ちよくスリッパをはくことができたのはだれのおかげなんだろうと思います。それは私の前に使って、次の私のためにはきやすくしておいてくれただれかのおかげです。だれなのかわからない。「ありがとう」とお礼を言いたいけれど……。お礼が言えないかわりに自分がもらった気持ちよさを自分の次のだれかにプレゼントすることにしています。頭の中で次のだれかの笑顔を想像して、ちょっとうれしくなるってすてきでしょ。見えない「ありがとう」があふれる学校になるといいな。



自分の世界を広げる朝読書

5、6年生は朝にモジュール学習を行っています。後期課程の7～9年生では朝読書を行っています。見ていると、物語や小説などのほかに新聞を開いている人もいました。短い時間ですが、どの学級でもとても静かに集中して活字と向きあっています。密度の濃いひとときだと感じました。時事問題などについて考えたり資料の活用力を高めたりするために、何より読解力を身に付けるために大いに役立つ読書です。でも、私は本の中でする体験や他の人の考え方をすることで自分のものの感じ方、考え方を広げたり深めたりすることに読書の大きな意義があると思っています。どんな本でもいい。1冊でも多くの本と出あってほしいと思います。



5、6年生の専科授業について①

畠田学舎での5、6年生の学習の特長として、教科担当の先生による専科授業をいくつかの教科で行っていることがあります。教科は、算数、理科、外国語、音楽です。7年生からの後期課程では、道徳科、学活、総合的な学習の時間は学級担任が、その他の教科は全て教科担当が授業を行うこととなります。後期課程での学習に円滑に移行できるようにすることはもちろん、専科の先生の授業により学習の楽しさを味わったり学級担任以外の先生との関わりを深めたりすることで、より学習や学校生活を充実させることを目指しています。教科によっては、学級担任とのチーム・ティーチングを実施し、よりきめ細かく指導

できるようにして
います。次回にも
学習の様子を紹介
します。



王寺ジュニアバンド「ハルモ」のコンサート

王寺ジュニアバンド「ハルモ」は6年生までの人たちでつくっているグループです。現在は6年生までの全員が王寺南義務教育学校のメンバーとなり、太子学舎で練習をしています。4月最後の日曜日に、卒業した7年生へのお礼とお別れの意味もこめたコンサートがありました。演奏ももちろんすてきでしたが、お別れする3人の7年生は北義務教育学校です。普段会えないこともあり、7年生に贈った一人一人の心のこもったメッセージに感動し

ました。とてもすてきな仲間たちです。

